

■新たなスタンダードを生み出す 2 : What を問う

早いもので 2017年も半ばとなり、暑い季節がやってきました。特に熱中症などに注意して、日々元気に過ごして参りましょう。

さて、前回の社長レターで、ユニティは今、新しい仕事のスタンダードを作ろうとしているというお話をいたしました。スタンダードとは、標準や基準という意味です。新しいスタンダードを作るとは、つまり、これまでの仕事のやり方を見直し、問題があれば改め、私たちの経営理念である「みんなが幸せに生きる」を実現するにふさわしい共通の考え方や方法というものを社内に定着させていこうということです。

前回は、心と現実はつながっているという考え方を大切にしたいと書きました。今回もまた大切にしたい考え方をご紹介しますと思います。それは、『What を問う』姿勢を大切にすることです。What を問うとはどういうことでしょうか。それはつまり、「これってなあに？」と改めて問い直してみるということです。

例えば、警備とはなんのでしょうか。当たり前すぎて、かえって答えに詰まってしまうということはないのでしょうか。他にも、会社ってなんのでしょうか。ユニティガードシステムってなんのでしょうか。仕事ってなんのでしょうか。このように What を問われると実は意外とよくわからないということはないのでしょうか。一見当たり前に分かっていることのようにありながら、実はよくわからないことは沢山あります。そのことについて What を問うことによって、皆で明らかにしていきたいと思うのです。そうすると、物事の本質が見えてくるかもしれません。

本質にまで立ち返ると、私たちがなぜこの仕事をしているのか、その願いと目的もより明確になるのではないかと思います。

代表取締役社長 八木 陽一郎

